

1月29日

若者自死遺族の集い'17

下記のように「若者」を対象とした自死遺族の集いを行います。



日時 2017年1月29日(日) 10:00-16:30

場所 名古屋都市センター
JR・名鉄・地下鉄金山駅 南口すぐ

参加費 無料 事前申し込みも不要です。

参加対象 家族・友人など身近な人を自死で亡くした、18歳以上おおむね35歳前後までの方

連絡先 イベント専用の連絡先

 @wakamonoizoku
 wakamonoizoku

ユースの会

文集原稿2次募集のお知らせ

ユースの会で文集を制作することになりました。原稿の二次募集を開始しましたのでお知らせします。

対象となる方

家族、友人、恋人など大切な方を自死で亡くされた、概ね35歳以下の方(35歳以上で投稿をご希望の方はお問い合わせください。)

規定

「あの人への思い」「あの人に手紙を書くなら」「誰にも言えない思い」などをテーマに文章をお寄せください。字数制限はありませんが、長い場合調整をお願いする場合があります。

応募期限 2017年2月13日

応募方法

メール、FAX、郵送。

ご連絡させていただく必要がありますので、ご住所・お名前・電話番号・メールアドレスを必ずお知らせください。掲載時のお名前は匿名で大丈夫です。どのようにするかお知らせください。

問い合わせ先、原稿送り先

メール: remember_nagoya@yahoo.co.jp

FAX: 020-4668-8925

郵便: 612-8799 京都府京都市伏見区撞木町1148 伏見郵便局留
「リメンバー名古屋」

※寄稿くださったすべての原稿を掲載することができませんことを、あらかじめご了承ください。

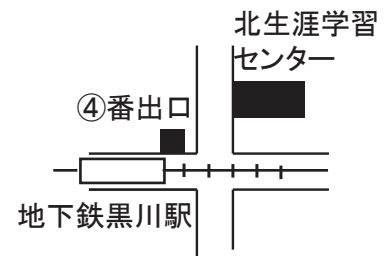
※掲載にあたり、内容、表現についてご相談させていただく場合があります。

※愛知県地域自殺対策強化事業費補助金事業として行うものです。

次回の遺族会

第79回

12月25日(日)13:15から
名古屋北生涯学習センター
地下鉄名城線「黒川」下車
(4番出口)よりすぐ
参加費:500円



その次は・・・

第80回 2017年2月12日(日)
北生涯学習センター

日程は、ホームページまたは、電話案内でご確認いただけます。
パソコンの方

<http://will.obi.ne.jp/remember/>
携帯電話の方

<http://www.will.obi.ne.jp/m/>
電話案内(録音でのご案内)
090-8544-9408

「望年会」のご案内

12月25日遺族会終了後

12月25日遺族会終了後17時ごろから、毎年恒例の食事会を行う予定です。遺族会に参加したことのある方ならどなたでもご参加いただけます。事前申し込み制ですが、席に若干余裕をもたせてありますので、当日参加を希望される方はスタッフにおたずねください。
会費:3000円前後
場所:黒川駅周辺居酒屋

※リメンバー(忘れずにいる)会であることから、「忘」を避け「望」の字をあてています。

11月20日リメンバーin岡崎を開催しました

11月20日、岡崎市、岡崎げんき館において自死遺族の分かち合いの会「リメンバーin岡崎」を開催しました。今回で7回目となる開催です。

今回は10名ほどのご参加があり、「分かち合いの会」を行いました。

2月 18、19日 子どものグリーフサポートの輪を広げたい 親を亡くした子どもを支えるファシリテーター養成講座

病気や事故、自死、震災などにより、父親や母親との死別を経験した子どものグリーフを理解し、子どもを支える「グリーフサポート」のための知識と、子どもに寄り添うためのスキルを学びます。また、受講者も自分自身のグリーフを振り返り、子どもとの向き合い方の考察を深めます。

(他団体主催のものです)

- 日時：2017年2月18日(土)～19日(日) ※2日間の日程です。両日ともご参加ください。
10:00～17:00
 - 場所：名古屋市青少年文化センター (アートピア) 第3研修室
名古屋市中区栄3-18-1 ナディアパークデザインセンタービル9階
 - 対象：教育関係者をはじめとする子どもに関わるすべての方、学生、その他
 - 定員：30名
 - 参加費：学生500円 一般3,000円
 - 主催：リングA・高橋聡美研究室
 - 申し込み・問い合わせ：2月10日締め切り
- Eメール/ ringa_nagoya@yahoo.co.jp

3月 18-20日 小中学生遺児とその保護者向け たんぽぽのつどい2017

自死や事故、病気などで親を亡くした小中学生遺児とその保護者が対象の「たんぽぽのつどい2017」が3月18日(土)～、20日(月・祝)に、愛知県内で行われます。

(他団体主催のものです)

- 日時：2017年3月18日(土)～20日(月・祝)
- 場所：愛知県内 (参加者に詳しい場所をお知らせします)
- 目的：親を亡くした中学生以下の子どもたちに「一人じゃない」と思える場づくりと、親を亡くした子どもをもつ保護者の方の分かち合い。
- 対象：自死や事故、病気などで親を亡くした、東海北陸地方の中学生以下の遺児と保護者の方
- 参加費：無料
- 主催：リングA・たんぽぽのつどい2017実行委員会

次回「ディアレスト」のご案内

家族ではないけれども大切な人を自死で亡くされた方を対象に、2ヶ月に1回、遺族会「ディアレスト (Dearest)」が開催されています。

日時：2017年1月22日(日) 13:30-16:00

場所：名古屋市中村生涯学習センター

地下鉄東山線「本陣」駅4番出口より徒歩5分
対象：家族以外の大変な人(恋人・婚約者・パートナー・親友・同僚・上司・部下・先輩・後輩・先生・生徒、など)を自死(自殺)で亡くされた方
参加費：500円
連絡先：the.dearest1@gmail.com
<http://dearest.heyajp>

次回「～こころの居場所～AICHI自死遺族支援室」のご案内

以下のように開催されます。詳しくはホームページ等をご覧ください。

日時：2017年1月を予定

※日程はご確認ください。

場所：東別院会館 地下1階会議室
※事前にご確認ください。
参加費：500円
連絡先：cocoroibasyo@yahoo.co.jp
090-4447-1840
水・木 15:00～20:00
日曜日 18:00～20:00
<http://cocoroibasyo.org/>

12月18日自死遺族向けセミナーを開催しました



ご講演中の碑文谷氏

12月18日、元雑誌SOGI編集長で、葬送ジャーナリストの碑文谷創（ひもんやはじめ）氏の講演会を開催しました。41名の方にご来場いただき、第一部講演「人それぞれの別れ方、メモリーがある」、第二部質疑応答と対談、というプログラムで開催しました。

グリーフについてのお話の他、供養についての最新情報をお聴きしました。葬儀やお墓、仏壇…といったお話は、もしかすると人によっては聴くのがしんどいのではないかと懸念もありましたが、スタッフの中で「自死で亡くなった人のことでは、葬儀も納骨もすでに終わっているけれども、これから人を送ることがあるわけなので、葬儀やお墓などの話もぜひ聴きたい」という声が多くあり、講師の碑文谷氏に「供養についての話もぜひに」とリクエストさせていただきました。

近い人が亡くなったときは、自分自身でさえどういうふうに反応するかわからない、相手を愛していたかどうかも亡くなってみないとわからない、など、グリーフについて詳しく、わかりやすく教えていただきました。お葬式のときに、ちょっとしたことでよく争いが起きるのはなぜなのか、それは、看取れなかったことのくやしさが攻

撃になってあらわれるのかもしれないが、それもそのときにはわからない、というお話があり、自分自身の家族の葬儀を振り返って、思い当たることがたくさんありました。

葬儀の在り方、悲しみ方、供養の仕方、どれも人それぞれなのだ、人それぞれでいいのだ、ということ、繰り返し話していただき、とても心が楽になった、という感想を多くいただきました。散骨や樹木葬、エンバーミングの話も聴けてよかった、という声も複数ありました。

また、今回、たくさんの資料を配布し、講師の著書や、25年にわたって隔月刊行された、雑誌『SOGI』を全刊（約150冊）展示しました。『SOGI』には、有用な情報がたくさん詰まっており、休憩時間中に多くの方が手にとられていました。25kgの荷物が6個、総重量でおよそ150kgの資料を、荷解きし、展示・配布し、余った分をまた梱包して発送する、という作業を、6人のスタッフで行いました。それはそれは大変な作業でした。しかし、おかげで、役立つ情報が満載の空間になったと思います。スタッフとして参加してくださった皆様、ほんとうにお疲れさまでした。



雑誌「SOGI」展示

新聞郵送をご希望の方へ

1月～6月末までのお申し込み(前期)…1000円 もしくは 82円切手(80円切手も可)13枚

7月～12月末までのお申し込み(後期)…500円 もしくは 82円切手(80円切手も可)7枚

お申し込みは、郵便番号・住所・氏名を記入の上ご送金いただくか、切手をご郵送ください。遺族会の当日、受付でお支払いいただいても結構です。

スタッフ募集

遺族会に参加したことがある方で、会の活動のお手伝いをいただける方募集しています。詳しくはお問い合わせください。

自死遺族向け面接相談（無料）

○愛知県精神保健福祉センター

要予約 052-962-5377 毎月第3木曜日 午後2時-3時30分

○名古屋市精神保健福祉センターこころぼ

要予約 052-483-2095 毎月第3火曜日 午前10時-12時

電話相談のご案内

自死遺族に限らない、幅広い窓口です。

○あいちこころほっとライン365

愛知県精神保健福祉センター 毎日 9:00~16:30 052-951-2881

○名古屋市こころの健康電話相談

名古屋市精神保健福祉センターこころぼ 月-金 12:45~16:45
052-483-2095

各都道府県、政令指定都市（名古屋市、浜松市、静岡市等）には、精神保健福祉センターが必ず設置されています。精神的なお悩みがある場合、まずは、お住まいの地域の精神保健福祉センターにご相談されるとお役に立つ場合があります。

民間の電話相談

○NPO法人グリーンケアサポートプラザ

自死遺族傾聴電話

火曜日、木曜日、土曜日 10:00-18:00 03-3796-5453

○社団法人日本臨床心理士会

心理的な相談（自死遺族に限ったものではありません）

祝日を除く、毎週月曜日・水曜日・金曜日 9:00-12:00

祝日を除く、毎週月-金曜日 19:00-21:00

03-3813-9990

法的なことでの相談

●全国自死遺族法律相談ホットライン

弁護団の弁護士が直接対応致します

電話番号 050-3786-1980

受付時間 毎週水曜日（祝日を除く）

12時から15時まで

●日本司法支援センター「法テラス」

「法テラス」は国が設置した公的な法人です。

法テラス愛知 050-3383-5460

法テラス三河 050-3383-5465

※平日9:00-16:00

りめんばー

「マッチ売りの少女」の物語はご存知でしょうか？

何十年かぶりに改めて読んでみると、同じ物語でも、子どものころとはずいぶん違う物語として感じられます。

なんとなく、可哀そうな少女の物語ぐらいにしか記憶していなかった話ですが、身近な者の死—自死を経験した後の今読むと、どうしても少女の死のを中心に考えてしまいます。

物語の結末は、雪降る冬の夜、マッチを売っていた少女が、寒さのため凍え死んでしまうというものです。その死は

「まわりの者からはただ可哀そうな死としか見えないけれども、大好きだったおばあさんに抱かれて共に天国に昇っていく少女は、その時幸せな微笑を浮かべていた」と描かれています。マッチの光によって、亡くなったおばあさんに会い、そのまま抱かれて死を迎えることは、最後の救いであつたのでしょうか。

この物語は、キリスト教における神の救いを描いたものではありませんが、大きな苦しみの中にいる者にとって、死はさらなる苦しみではなく、救いでもあることにはほっとさせられます。死にさえ救いがなければ、生きていくことに耐えられないように思うのです。

身近で自死した者は、その死がせめてもの救いとなつたのかどうか、幸せな微笑とともに死んだのかどうかはわかりません。でも、その死までもが苦しみに満ちたものであってほしくはないと願うのです。（KN）